

トラウマとヨーガ療法



～癒しと再生への道～

第24回

Japan Yoga Therapy Society Conference NIIGATA 2026

日本ヨーガ療法学会 研究総会 新潟大会

2026年5月23日(土)・24日(日)

会場：朱鷺メッセ メインホール (スノーホール)



WEBサイト

○大会長講演



今井 洋介 (いまい ようすけ) Yousuke Imai

医学博士 がん薬物療法専門医・指導医・血液専門医 サイコオンコロジー学会CSTファシリテーター 長岡西病院 ビハラー病棟長
日本仏教看護・ビハラー学会長 ささえあいコミュニティ生活協同組合理事長 新潟いのちの物語をつむぐ会医療代表
チームませう代表 日本死の臨床研究会代議員 日本死の臨床研究会関東甲信越支部役員 日本サイコオンコロジー学会代議員

‘67 赤坂氷川町に生誕。’88 新潟大学医学部入学。同時に相馬整体療術院相馬隆氏、大東流合気柔術、武田宗光氏に師事。’91. 友人達と新潟大学医学部よろず医療研究会をつくり、よろず医療相談所を開始。’93 タイ王国北部のサラピ村、クーデン寺にて、出家、還俗をする。’98,7-’23.3、新潟県立がんセンター新潟病院 血液化学療法科勤務。血液悪性腫瘍、難治性固形がん、希少癌に対して化学療法、造血幹細胞移植、分子標的療法を含む治療に取り組む。’05 いのちをめぐる連続講演会スタート、現在 45 回。’09,5/17 パッチ・アダマス講演会、座談会主催。新潟にもホスピタルクラウンが生まれた。’11,5/3 東北大地震被災地支援 チームませう発足。東北と中越を人と人の縁でつなぐ。’11, 新潟県個別 CST スタート。’18 新潟いのちの物語をつむぐ会発足 ’23,8 日本仏教看護・ビハラー学会会長に就任。’23,4 より長岡西病院 ビハラー病棟に勤務。’24,4 よりビハラー病棟長。



今村 達弥 (いまむらたつや) Tatsuya Imamura

福岡県出身。大阪大学人間科学部中退後、1994年新潟大学医学部卒業。学生時代より「よろず医療会」を結成し、専門家・市民ネットワークの活動を行う。下越病院・沼垂診療所などで地域医療について研鑽を積み、1999年より精神科へ転じる。菊陽病院、都立豊島病院、新津信愛病院を経て、2012年9月ささえあいクリニックを開院。

「ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟」設立に関わり、同理事を務める。

精神保健指定医 日本精神神経学会専門医 日本老年精神医学会専門医

日本仏教看護・ビハラー学会理事 日本統合医療学会新潟県支部長 新潟県保険医会常任理事

○基調講演



木村 慧心 (きむら けいしん) Keishin Kimura

世界ヨーガ療法連合創設役員 世界保健機関 (WHO) ヨーガ指導基準策定部会委員 アジア太平洋ヨーガ療法協会代表役員
SVYASA大学大学院/AMITY大学・カイヴァルヤダーマ・ヨーガ研究所附属大学客員教授
(一社) 日本ヨーガ療法学会理事長 NPO法人日本ヨーガ療法士協会理事長

東京教育大学理学部卒業。1982年、ヨーガ・ニケタン修道院(インド・リシケシ)開祖スワミ・ヨーゲシヴァラナンダ大師より聖名(ギヤーナ・ヨーギ)を拝受し得度。ラージャ・ヨーガ・アチャルヤ(阿闍梨)となり、インド内外で伝統的ラージャ・ヨーガ指導を開始。2019年8月、ヨーガの発展と普及に多大な貢献をしたインド国外2名の内の一人として“第1回インド首相賞”受賞。現在、日本、インド、欧州、南北米等、世界各国で伝統的ヨーガとヨーガ療法の普及活動に従事。

○招待講演



石川 勇一 (いしかわ ゆういち) Yuichi Ishikawa

「トラウマへの多様なアプローチ：心理臨床・初期仏教・スピリチュアルな視点からの理解と治療」

行者(初期仏教、修験道)、相模女子大学教授、臨床心理士、公認心理師、日本トランスパーソナル心理学/精神医学会前会長(2015年～2021年)、病院(精神科/精神科)心理カウンセラーや学生相談室相談員、修験道修行(熊野)、シャーマニズム(ブラジル奥アマゾン)、上座部仏教短期出家修行(ミャンマー、タイ)等を経て現在法喜楽庵代表(<http://houkiraku.com/>)、心理療法・瞑想・スピリチュアリティ・ダンマを統合した独自のスピリット・センタード・セラピーやダンマ・セラピーを実践。一日瞑想会やリトリート等を約200回開催。相模女子大学では臨床心理学、ソマティック心理学、仏教心理学などを教える。1971年神奈川県相模原市生まれ、現在、富士山麓(山中湖村)在住。主な著書に『欲ばらない練習』、『ブッダの瞑想修行：ミャンマーとタイでブッダ直系の出家修行をした心理学者の心の軌跡』、『ここを救うことはできるのか』、『修行の心理学：修験道、アマゾン・ネオ・シャーマニズム、そしてダンマへ』、『新・臨床心理学 事典：心の諸問題・治療と修養法・霊性』、『スピリット・センタード・セラピー：瞑想意識による援助と悟り』、『心理療法とスピリチュアリティ』、『自己実現と心理療法：実存的苦悩へのアプローチ』など。



加藤 直哉 (かとう なおや) Naoya Kato

「自律神経と腸から考える心の安寧～心と身体を癒す統合的アプローチ～」

1974年大分生まれ。琉球大学医学部卒業。新生児特定集中治療、重症心身障害児施設などの勤務を経て小児科専門医を取得。その後、内科・ペインクリニック・老人保健施設で数年経験し、0歳から100歳までのすべての年齢に対して西洋医学的経験を持つ。と同時に世界で数万人以上が実践する山元式新頭鍼療法を創始者である山元敏勝医師から、東洋医学・漢方の基礎を久留米大学名誉教授無敵剛介医師から学び、西洋医学だけでなく東洋医学にも精通。その後も様々な研鑽をつみ、2020年5月これらの知識を融合させた統合医療クリニック「こもれびの診療所」開院。所属団体・学会 2006年：日本東洋医学会漢方専門医取得 2006年：日本小児科学会専門医取得 2015年：米国催眠士協会認定セラピスト取得 2017年：腸マッサージ認定セラピスト取得 2021年：山元式新頭鍼療法学会代表理事就任 学位(死生学研究にて取得) Ph.D in Social Sciences(Azteca University) Ph.D in Social Sciences(Nicaragua University) Ph.D in Philosophy(I.O.U)



宮地 尚子 (みやじ なおこ) Naoko Miyaji

一橋大学大学院社会学研究科・特任教授。専門は文化精神医学・医療人類学・トラウマとジェンダー。精神科の医師として臨床をおこないつつ、研究をつづけている。1986年京都府立医科大学卒業。1993年同大学院修了。主な著書に『傷を愛せるか 増補新版』(ちくま文庫)、『トラウマ』(岩波新書)、『ははがうまれる』(福音館書店)、『環状島＝トラウマの地政学』(みすず書房)、『傷つきのところ学』(NHK出版)、『傷のあわい』(ちくま文庫)などがある。